

会津農林高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

会津農林高等学校の環境科学科2年生と座談会を行い、座学として建設業の役割や新社会人に求められる資質などを学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などについて講話いただき、生徒が抱える建設業への不安や疑問について意見交換を行いました。

- <日 時> 令和7年12月16日(火) 13:25~15:15
- <場 所> 福島県立会津農林高等学校 大会議室(河沼郡会津坂下町)
- <対象学年> 環境科学科 2年生 13名
- <コーディネーター> 環境科学科 ご担当教諭3名
- <アドバイザー> 地元建設企業3社(株)丸庄工務所、秋山ユアビス建設(株)、会津土建(株)
福島県土木部建設産業室、(一社)福島県建設業協会

座学1「建設業の役割等について」

講師：福島県土木部建設産業室 主査 伊藤経介さん



1. 建設業とは?
建設業では「つくる!直す!管理する!」をしています。
建設業の種類
建設業関係の職業
建設業の役割(地域との関わり)

建設業関係の職業
大勢の人が力を合わせて一つの建物や道路を作り上げます。

建設業は「地域の守り手」として、地域の人の安全・安心な生活、経済活動を支えています。

座学2「建設業への就職に向けて」

① ICT活用の現状と課題、今後の展望... 講師：(株)丸庄工務所 代表取締役 荒川英治さん



ICT施工の活用
建設現場のDXの取組(Construction DX)

ICT施工の活用
建設現場のDXの取組(Construction DX)

ICT施工の手順(従来施工と比較)
従来(概算)

② 建設業を担う若手技術者に望むこと... 講師：秋山ユアビス建設(株) 土木部係長 伊藤翔太さん



2. 建設業を目指した理由
私立農林高等学校進学と建設業への就職... 建設業を目指すべき理由はなく、なんとなく建設業に就職しました。

4. 働き方の改善に向けて
作業環境の改善
工事現場が始まると現場事務所を設ける事が多く、そこを拠点に現場管理や書類整理を行う事が多いため、現場事務所の快適化を行っており、女性職員への環境整備が進んでいる。

5. 学生の皆さんに伝えたいこと
*なんでも資格の時代なので、今のうちから取得できるものは取得すれば自分の為になる。
*小さいものでも良いので目標を決める。
*工事現場では多少の苦労もありますが、完成した時の達成感や地域へ貢献していることにやりがいを感じる。

③ 新社会人に求められる資質... 講師：会津土建株式会社 総務室長 櫻井めぐみさん



皆さんについて
皆さんは夢をお持ちですか?
夢を持つ → 目標ができる → 頑張る力
成功も失敗も全て経験は宝物

新社会人に求められる資質とは?
資質とは?
職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力
「3つの力」
前に踏み出す力 = チャレンジ
考え抜く力 = なぜ?を大切に
チームで働く力 = 思いやり

前に踏み出す力=チャレンジ
社会人として求められるものは...
「積極性」
前向きに、一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り戻そう
★新人時代は、スキルや知識がないのは、当たり前!
★失敗したら...を心配せず、目標に向かっている
★自ら積極的に学ぶ姿勢

グループワーク（意見交換）

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。

Q1 福利厚生について

A1 育児休暇などがある。男性社員として初めて一ヶ月取得した。最大一年取得でき、休暇中は給料の6割が支給される。

Q2 休日や残業について

A2 基本的に土曜日、日曜日は休み。完全週休2日制。残業はほとんどない。

Q3 人間関係について

A3 会社にツーリングクラブなどもあるので、先輩社員や同期社員、後輩社員ともつながりがもてる。

Q4 どういう人が必要とされるか

A4 積極性がある人。自分からコミュニケーションをとり、わからないことは質問する。

Q5 今のうちに学んでおいた方がよいこと

A5 2級土木施工管理技士補の資格を取得しておくことよい。建設会社には資格取得支援制度があるので、就職してから資格取得を目指しても遅くない。スキルアップに対する支援は充実している。

<座談会の様子>



<生徒からの感想>

座談会に参加する前は、建設業はきつい仕事のイメージだったが、週休2日となり年間休日が増えたことや資格取得支援や育児休暇・有給制度により、働きやすい環境であることがわかった。また、女性用トイレの設置や休憩所の分煙など、働く人が快適に過ごせるよう整備されていることも知れた。将来の職業選択の一つとして考えたい。

<皆川学科長講評>

1年生から進路ガイダンスやインターンシップに参加しているが、説明を聞くだけだった生徒が、座談会という形で開催することで、わからないことや聞きたいことを積極的に聞き、自らの進路を本気で考える様子に変わった。進路選択の参考となる建設業の現状について生の声を聴くことができ、非常にありがたく思う。残り一年の学校生活だが、生徒の進路を見据えて開催することができてよかった。

